

日本共産党 千葉県議会報告

2018年 冬季号

県議会控室

260-8667 千葉市中央区市場町1-5

日本共産党千葉県議団

電話 043(223)2544

http://www.jcp-chibakengikai.jp/

みなさんと力をあわせて 新しい政治めざしががんばります

2018年 日本共産党

請願に込められた県民の切実な願い実現へ

ゆきとどいた教育を 10万余の署名

教育関連の5つの請願が10万余の署名をそえて提出されました。学校施設の改修要望は、2016年度2668件中、予算がついたのはわずか2割程度です。県立高校の洋式トイレ整備は24%、全国「ワースト4」と報道されています。



日本共産党は、必要な予算を確保し請願に応えるよう求めました。しかし、自民、公明などが賛成せず、不採択となりました。多くの県民の願いに背を向ける議会ではいけません。

.....【主な請願内容】.....

- ◆小・中・高での少人数学級拡大 ◆正規教職員増員
- ◆雨漏りや床タイルの剥がれなど老朽化した校舎・体育館の改修 ◆特別支援学校過密化解消 ◆エアコン公費設置
- ◆定時制高校「給食廃止」撤回 ◆私学の経常費助成増額、授業料減免拡充、施設設備費助成 ◆返済不要の県奨学金制度創設 ◆私立幼稚園教職員処遇改善 ほか

重度障害者医療費助成の改善を

2015年8月から重度障害者の医療費助成は、償還払いから現物給付となりました。その際、県は入院一日、通院1回300円の一部負担金を導入し、65歳以上で重度障害になった方を制度の対象外にしました。県の調査では、新たに負担が増えた方は、対象の半分以上、4万人を超えています。

お金の心配なく医療が受けられるよう一部負担金と年齢制限をなくし、あわせて全国25県で実施している精神障害者への助成に踏み切るべきです。この請願に自民、公明などは反対しました。

米の生産費を償う価格の下支えを

生産者米価が生産費を大きく下回り、米作りは赤字。国の「交付金」も縮小・廃止されるため、大規模農家も含めた稲作農家の経営は大変です。

国民の食糧と地域経済、環境と国土を守る農業振興は政治の責任であり、欧米では営農の下支えは当たり前です。米の再生産を保障する制度の確立が求められています。

9条「改憲」やめて

憲法9条に「自衛隊」を明記する「改憲」を行わないよう、国に意見書の提出を求める請願がだされ、自民、公明などは反対しました。安保法制＝戦争法を強行した安倍政権のもとで、9条への「自衛隊」書き込みを許せば、戦力不保持、交戦権否認の9条2項は台無しとなり、海外での無制限な武力行使がやりたい放題になってしまいます。

千葉県生活と健康を守る会連合会（生健会）のみなさんと社会保障の充実を求めて県に要請しました。この間、あの手この手で保護の申請を諦めさせ、生活保護を受けさせない「水際作戦」も後をたちません。



県に要請する生健会のみなさん

生活保護受給者からの「無理やり財布の中身を見せるような資産調査はやめさせ

止めよう！生活保護切り捨て 「申請」すらさせないような 「水際作戦」の改善を要求



パラシュート降下訓練（習志野演習場）

陸上自衛隊第一空挺団の「降下訓練始め」が1月12日、陸自習志野演習場で行われ、パラシュート降下や実戦さながらの模擬戦闘訓練が行われました。

今年も昨年に引き続き米軍部隊が参加。今年の米軍参加は、

陸上自衛隊第一空挺団の「降下訓練始め」が1月12日、陸自習志野演習場で行われ、パラシュート降下や実戦さながらの模擬戦闘訓練が行われました。

陸上自衛隊第一空挺団の「降下訓練始め」が1月12日、陸自習志野演習場で行われ、パラシュート降下や実戦さながらの模擬戦闘訓練が行われました。

ストップ！日米軍事一体化 陸上自衛隊パラシュート部隊(第一空挺団) 「降下訓練始め」に米軍80人が参加

陸上自衛隊第一空挺団の「降下訓練始め」が1月12日、陸自習志野演習場で行われ、パラシュート降下や実戦さながらの模擬戦闘訓練が行われました。

今年も昨年に引き続き米軍部隊が参加。今年の米軍参加は、

陸上自衛隊第一空挺団の「降下訓練始め」が1月12日、陸自習志野演習場で行われ、パラシュート降下や実戦さながらの模擬戦闘訓練が行われました。



9条改憲NO！ 憲法を生かす

戦後70年以上にわたって、日本が海外で戦争をしてこなかった大きな力は憲法9条の存在と市民の粘り強い運動でした。日本がふたたび海外で「戦争する国」になるのはゴメンです。「安倍9条改憲NO!全国市民アクション」が呼びかけた署名をひろげましょう。

3000万全国統一署名と一緒にひろげましょう



松戸市 環境生活警察常任委員

みわ 由美

市川市 県土整備常任委員

岡田 幸子

千葉市花見川区 健康福祉常任委員

寺尾 さとし

船橋市 商工労働常任委員

丸山 慎一

柏市 文教常任委員

加藤 英雄

浅野 ふみ子

(党千葉県女性部長)

しいば 寿幸

(党千葉県副委員長)

住みよいく千葉県をめざして
がんばります

国保負担

過労死

再生土

基地問題

住民が主人公の千葉県政へ転換を

加速する安倍暴走政治から、暮らしと地域経済、平和を守る自治体の役割はますます重要です。その責務を果たす千葉県政への転換をめざして、日本共産党は全力をあげました。

日本共産党



2018年度県予算 167項目を要望しました

日本共産党千葉県議団は、知事に来年度予算編成に向けての要望書を提出しました。今年度の要望項目数は167。私学を含む教育費の負担軽減、大型店の無秩序な出退店規制と商店街支援予算の大幅増額、障害者（児）や施設への支援拡充と職員の処遇改善、定時制高校の夜間給食廃止の撤回、生活困窮者や子どもの貧困の解消などです。

重すぎる国保料の引き下げは国の責任で

4月から始まる国民健康保険の県広域化にむけて、県が11月に公表した保険料試算は、多くの自治体が引き上げとなります。

しかも県は、一般会計からの法定外繰入をなくそうとしており、仮に、そうなれば一人当たりの引き上げ額は県平均約8000円に跳ね上がります。

ただでさえ高い国保料の、これ以上の引

き上げは許せません。県や国の責任で保険料を引き下げるよう求めました。

主な自治体の保険料試算(激変緩和しない場合)

	一人あたりの保険料(税)		
	2018年度試算	2016年度との差	増減率
県平均	103,205	1,214	+1.2%
千葉市	103,211	1,912	+1.9%
船橋市	113,853	15,263	+15.5%
市川市	107,745	7,733	+7.7%
松戸市	109,431	4,462	+4.3%
柏市	107,810	9,579	+9.8%

低賃金・不安定雇用と長時間労働・過労死をなくす

安倍政権が進める「働き方改革」は、「月100時間未満」まで残業を認めたり、「残業代ゼロ制度」を導入するなど、「過労死」を容認するものです。

県庁職員も「働きやすい」職場環境とは言えません。この間、正規職員は減らされ、一方で非正規が増え、その比率は全体の

15%を超えています。

非正規職員は、ボーナスや退職金もなく、低収入のまま、3年あるいは5年で「雇い止め」となります。非正規職員の有給休暇は、4月より採用直後からとれるようになり、一歩前進させました。

再生土「埋立て」禁止の県条例に

県内各地で、建設汚泥などを中間処理した「再生土」をめぐる違法な埋立てや、悪臭・異臭など住民生活への深刻な影響、環境破壊が起こっています。

昨年12月に県は、再生土を規制する「条例骨子素案」を明らかにしましたが、埋立て事業者に「計画書の届出」を義務付けているだけで、実効性が疑われます。埋立ては禁止すべきです。現に、近隣県や県内8市町では禁止に踏み出しています。

禁止している他の県への口出しはやめるべきです

見過ごせないのは、県は「リサイクル促進」を理由に「他県に禁

止しないよう呼びかける」としていることです。それぞれの自治体が自らの判断で禁止措置したことに千葉県が口出しするなどということは、地方自治の基本からの逸脱です。



事故が相次ぐオスプレイ 木更津基地使用は許さない

沖縄米海兵隊のオスプレイの重大事故が相次ぎ、事故率が急上昇し、過去最高となりました。政府の「安全だ」という説明は覆り、オスプレイの危険性は誰の目にも明らかです。



日本共産党は、自衛隊オスプレイの配備が計画されている佐賀空港を調査し、地元のみなさんと懇談しました

しかし、米軍はオスプレイの飛行を止めません。日本政府も米軍言いなりです。オスプレイの飛行中止、木更津や沖縄をはじめ日本から撤去させる以外に、県民、国民の安全は確保できません。

官製談合

百条委員会を設置し 全容解明と再発防止を

東葛飾土木事務所の所長（当時）が情報を漏らした官製談合事件が明るみになりました。逮捕・起訴された建設会社の元取締役は、10年ほど前から県議や県土整備部幹部職員と料亭などで「県議を囲む会」と称する会食を複数回開いており、県行政と業者に加えて県議も「談合」に関与していたのではないかと、との疑惑を生じさせています。

日本共産党は、議長や他の政党に、事件の全容と背景を明らかにする地方自治法第100条に基づく特別委員会（百条委員会）の設置を申し入れました。民進党が提出した同委員会設置の決議への賛成討論も行いました。自民、公明は、同決議を否決し百条委員会設置に反対しています。

